

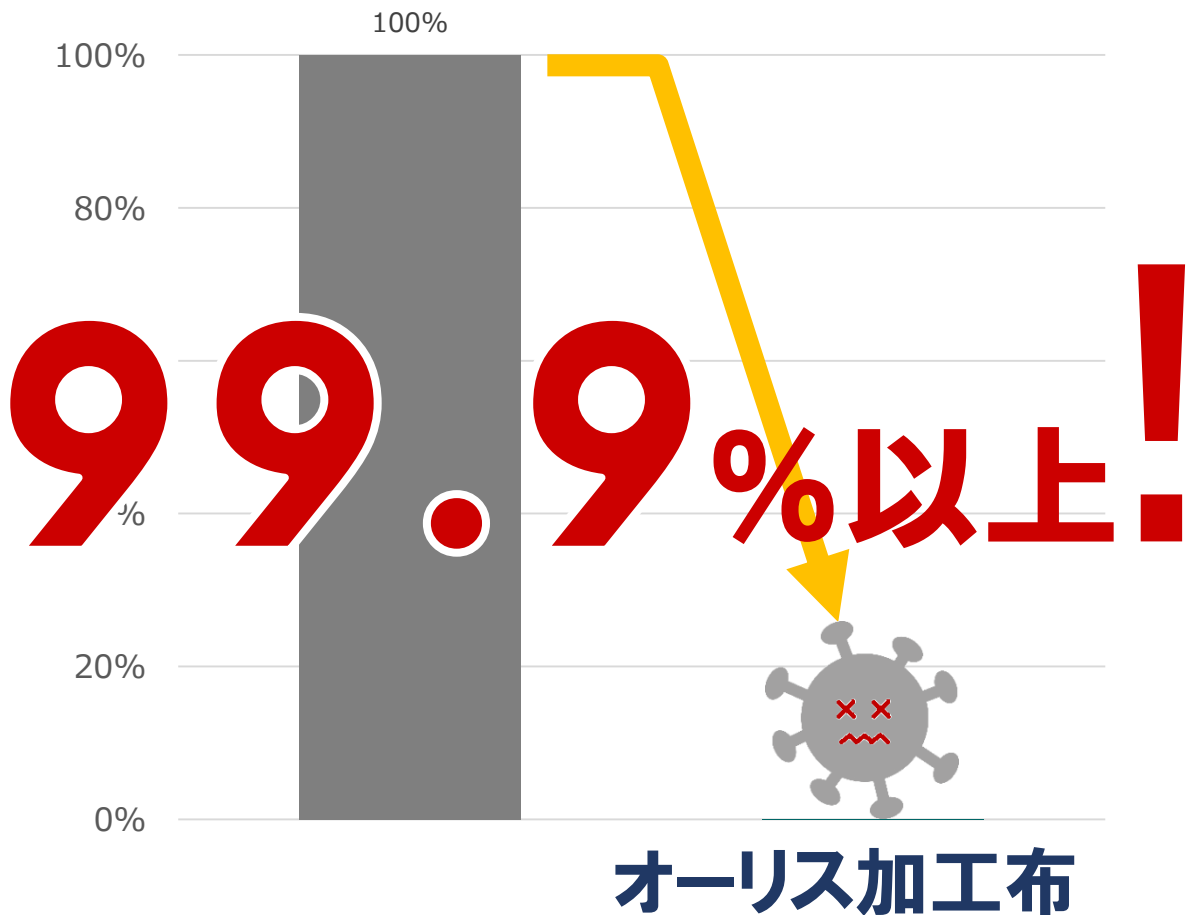
JIS L1922

【繊維製品の抗ウイルス性試験方法】

にて効果確認！

日華化学

抗ウイルス加工薬剤

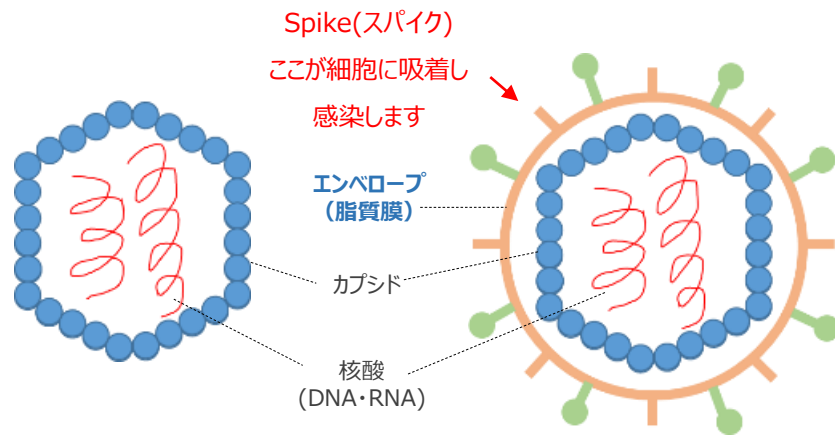


JIS L1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法にて評価
対象 A型インフルエンザウイルス (H1N1) : ATCC VR-1679

生地上のウイルス低減率

ノンエンベロープ・ウイルス

エンベロープ・ウイルス



ノロウイルス
アデノウイルス
など

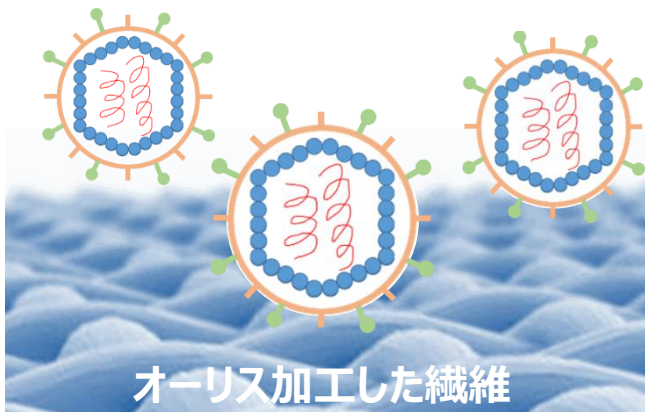
**新型コロナウイルス
(SARS-CoV-2)**
インフルエンザウイルス
など

ウイルスの構造は、粒子の中心にある核酸と、それを取り囲むカプシドと呼ばれるタンパク質の殻で構成されるものと、その外側に**エンベロープ**と呼ばれる脂質膜を持つ**2種類のタイプ**に分けられます。

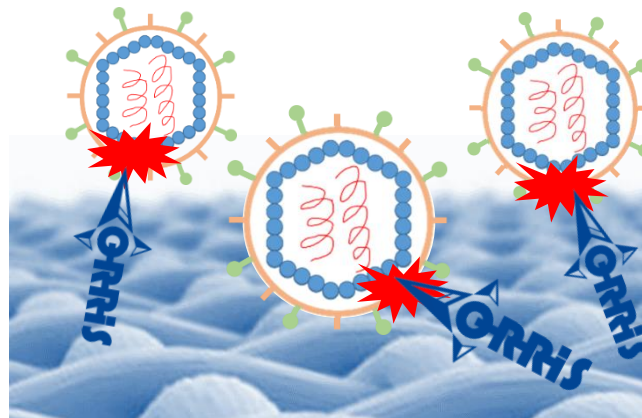
今回の**新型コロナウイルス**やインフルエンザウイルスはRNAタイプで**エンベロープウイルス**に属します。エンベロープの突起が細胞に吸着し、細胞内部へ入り込むことで増殖します。

オーリスが繊維に付着したウイルスの**エンベロープ**に作用することで、ウイルスの数を減少させます。

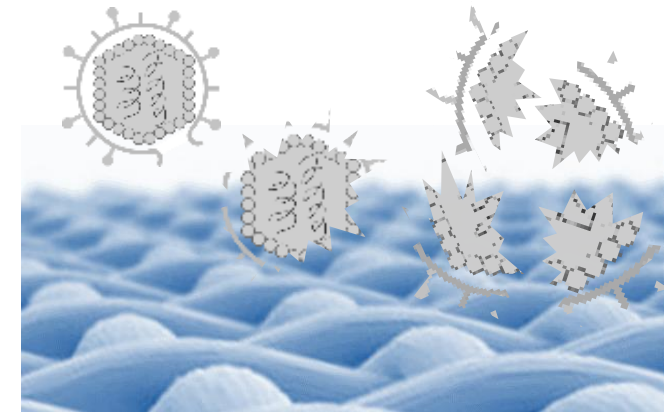
1 ウイルスが繊維へ吸着



2 オーリスがウイルスへ付着しエンベロープへアタック



3 内部のRNAが露出しウイルスが死滅する

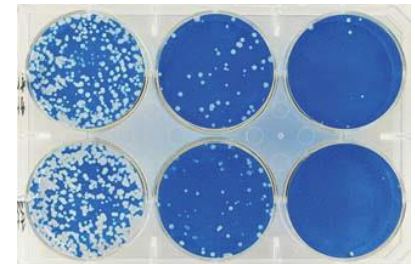


概要

繊維製品上に付着したウイルスの感染価(細胞感染性を持つウイルス粒子の数)が減少する度合いを確認します。

試験方法

- ① 試料 (抗ウイルス加工品および標準布) にウイルス液を接種します。
- ② 25℃で2 時間静置します。
- ③ 培地を用いて、試料に付着したウイルスを洗い出します。
- ④ 洗い出した液を段階希釈し、プラーク法※によりウイルス感染価を測定します。
- ⑤ 次式により抗ウイルス活性値を算出し、抗ウイルス性能を評価します。



$$Mv = \lg (Va) - \lg (Vb)$$

Mv : 抗ウイルス活性値

$\lg (Va)$: 接種直後の標準布のウイルス感染価 (PFU/ 試験片) の常用対数

$\lg (Vb)$: 2 時間静置後の抗ウイルス加工品のウイルス感染価 (PFU/ 試験片) の常用対数

・JISによる抗ウイルス効果

$3.0 > Mv \geq 2.0$: 効果あり

$Mv \geq 3.0$: 十分な効果あり

